

地域バイオマスの特徴とその利用

— 林地残材、柑橘の搾汁残さ、コーヒー滓、および茶殻 —

バイオマス循環プロジェクトスタッフ 山下里恵 菊池圭祐 櫻川智史

Characteristics of regional biomass and its use

— Logging residue, citrus pomace, coffee grounds and tea grounds —

Rie Yamashita, Keisuke Kikuchi and Satoshi Sakuragawa

におい・かおり環境学会誌 43巻2号, 112-119, 2012

食品残さや林地残材などの様々なバイオマスが、各地域で発生している。それらバイオマスは、その特性に合わせて、地域内で最大限に活用されるのが望ましい。本稿では、静岡県で発生する主なバイオマスについて、1) スギ材および特産柑橘(ダイダイ)果皮からの精油の抽出とその香りの解析事例、および2) 飲料製造において大量に発生するコーヒー滓や茶殻の特徴、およびそれらに含まれる有用成分とその利用方法を紹介する。

スギ材からの精油の抽出では、超臨界CO₂抽出法によって芳香性のある精油が得られ、香り解析の結果、*cis*-カラメネンがスギ材の特徴香成分の一つであることが分かった。また、抽出圧力20MPa以上で、抗菌活性の高いフェルギノールを多量に含む精油が得られた。

ダイダイ果皮の減圧水蒸気蒸留では、香りに寄与する成分の割合が高い精油が得られた。